



### トウキョウ建築コレクション

を迎えた今回は、全国約20大学院からの修士設計展、修士論文展のほか、講演者によるレクチャー、座談会、討論会が行われた。

2月28日には「全国修士設計展」公開審査が行われた。1次審査で選ばれた11作品が審査され、横浜国立大学の西川博美さんによる「多層的な認識地図から、密集して住まう人々の〈間〉にゆるくて分厚い関係を

竹内昌義、手塚貴晴、豊田啓介、門脇耕三、大西麻貴の各氏にデジタルクリエイターの猪子寿之を加えた7人。公開審査後、表彰式が行われ、グランプリと各審査委員賞7人に記念の楯が贈られた。写真。特別協力の建築資料研究社・日建学院からは、副賞としてグランプリと審査委員各賞に1級建築士試験の「特待受講権」も贈られた。

山本氏は総評として、「都市



都市・まちづくり実行委員会  
(委員長・中野恒明芝浦工大教授、アプル総合計画事務所主宰)と総合資格学院(岸隆司学院長)

### 都市・まちづくりコンクール

主催による第2回「都市・まちづくりコンクール」の審査・講評と表彰・懇親会が1日、東京都港区の芝浦工業大学芝浦キャンパスで開かれた。写真。全国から応募のあった28作品の中から、小西葵さん、Liu Shuhanさんの筑波大グループが提案した『キモノのとおりみち』が最優秀賞に選ばれた。

同コンクールは、都市・まちづくりの領域に取り組み学生が自ら問題意識を見出した課題において、他学との交流を通じて自己表現力向上を図り、さらに

視野を広げてもらうことを目的に実施した。

都市・まちを区切る「際」を課題としたコンクールの審査では、応募28点を小林英嗣特別審査委員長(北大名誉教授)ら審査委員の投票による1次審査で8作品を選出。これを公開審査し、最優秀賞1点と優秀賞および審査員特別賞各2点を選定した。

「キモノのとおりみち」は、京染めの生産工場が減少しつつある京都市京都市中京区本能学区を計画地に選定。建物を東西

### 住む人の記憶伝達

が未来につながる。そういうものをつくる人になってほしい」と学生へ向けエールを送った。

また特別協賛の建築資料研究所/日建学院の中町基康本部長が「今回の熱い討議を拝見し、より一層応援をしよう」と決意を新たにされた。皆さんが社会に出て、いつか建築士の資格を取らなければならないタイミングがあると思う。その時に今回

者間で議論が行われた。審査員は建築家の長谷見雄二、八束はじめ、千葉学、小西泰孝、松田達彦の各氏。

また1日の特別企画「場をつくる」ということでは、「建築を学んだ学生は、社会でその知識をどう生かせるのか」をテーマに建築家の太田浩史、川添善行、工藤和美、手塚貴晴の4氏によるレクチャーや座談会、討論会が行われた。

### 都市循環に『発酵』必要

方向に接続することで工房、工場、店舗や住居を一体化し、分業化された生産工程を一度に学ぶことができる京染職人養成学校を提案した。

各大学の発表を踏まえた講評の中で小林特別審査委員長は「都市の循環をうまく成功させるには『発酵』の過程が必要である」とし、「大学で学ぶことは技術ではなく、答えを作るプロセス。皆さんが時間がかかっても努力を続けて良い酵素になれば、それは世界中で通用する力となる」と語った。

各賞の受賞作品と制作者は次のとおり(敬称略)。

〈最優秀賞〉  
▽キモノのとおりみち 小西葵、Liu Shuhan (筑波大)

〈優秀賞〉  
▽「源泉」 沈む源泉を温泉街に届ける 森北沙恵子、富田靖寛 (明治大) 城と町の間から お堀 伊豆拓也、大平裕貴、喜多英明、栗城智也、和田健、齋藤友博、奥泉伶太 (工学院大)

〈審査員特別賞〉  
▽うつりゆく際 古賀壮一朗、尾崎帆夏美、中島涼、盛田暢利(和歌山大) 五方よしグリーンエコーリズム 滋賀 琵琶湖と山を繋ぐみんなの港 駒井健也、池田真理也、咲花李歩、木原湧、水木翔平、今村奈美、桂若菜、町口久貴、橋本果奈、柳原公弘、新谷友(滋賀県立大) 都市を賦活する4つの景 小松萌、矢嶋優太(早大)

## 2015年3月3日 建設通信新聞

都市の高度  
交通省は、  
半期(14年  
月1日)に  
高度利用地  
とめた。今  
軸動向は、  
横ばいが  
落ゼロとなり、  
8割を超え  
を背景とし  
意欲や、生  
区でのマン  
より、商業  
くの地区で  
別にみると

電気工事)ない  
られている。  
中央会は、「厚  
の好影響がみられ  
の分の取引価格  
懸念する声が出て  
ポート。人件費  
の中で需要や消費  
小企業の景況に向  
れない」と説明  
上昇地区全  
国交省第4